

人と地域をつなぐ力

ー 能登半島での被災地支援から考える
AI時代のソーシャルワーク ー

学園祭
(ヴェリタス祭)
同日開催

どなたでも
ご参加いただけます



2026年

10月31日(土)

15時～17時 受付14時半～



聖学院大学 教授会室

(埼玉県上尾市戸崎1-1)



入場無料・要申込

AIは情報をつなぐ。
私たちは、人と人、人と地域をつなぐ。

2024年元旦に発生した能登半島地震は、過疎や高齢化などの地域課題を浮き彫りにしました。このシンポジウムでは、被災地での支援活動を手がかりに「つながり」について考えます。

生成AIが普及し、さまざまな仕組みや職業は急激に変化しています。これからの時代、自分や周囲の人の「こころとくらし」をどのように支えたいのでしょうか。

聖学院大学の学生ボランティアと、本学を卒業後に石川県内で歩み続けるベテランソーシャルワーカー。3名の語りからソーシャルワークの本質、そしてAI時代だからこそ大切にしたい専門職の存在価値をご一緒に考えてみませんか。どなたでもお気軽にご参加ください。

こんな方におすすめ！

- 心理・福祉・教育分野への進学を考えている高校生・受験生
- 社会福祉士・精神保健福祉士を目指す学生
- 自治体で地域づくりや防災、福祉に携わる職員
- 社会福祉協議会、地域包括支援センター、相談支援機関などの実践者
- 災害支援やボランティア活動に関心のある方 など

シンポジスト



竹内 康紘さん
心理福祉学科4年生

学生ボランティア団体
「そよかぜ」代表
社会福祉士を目指す学生



岡安 努さん
人間福祉学科
2003年卒業

社会福祉法人共友会
統括マネージャー
(精神保健福祉士・社会福祉士)



岩尾 貴さん
人間福祉学研究所
2008年修士課程修了

社会福祉法人 長久福祉会
業務執行理事
障害福祉サービス
グループ施設長
(精神保健福祉士)



田村 綾子

コーディネーター

学校法人聖学院理事長／聖学院大学心理福祉学部教授
精神保健福祉士として東日本大震災や能登半島地震の被災者でのこころのケアに専門職ボランティアとして従事。精神科病院や企業の健康支援センターにて、精神疾患やメンタルヘルス問題のある方への支援経験を有し、精神保健福祉士・社会福祉士の養成に携わる。公益社団法人日本精神保健福祉士協会前会長、上尾市地域福祉推進協議会会長など

特別企画

一般社団法人 埼玉県精神保健福祉士協会
精神保健福祉士によるブースでは・・・

埼玉県内で活躍する精神保健福祉士が、仕事の魅力や資格取得、就職活動に向けたアドバイスをを行います！



Love God and Serve His People

聖学院大学

■政治経済学部 政治経済学科
■人文学部 国際文化学科／日本文化学科／子ども教育学科
■心理福祉学部 心理福祉学科

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1-1 大宮から1駅

主催：聖学院大学総合研究所 心理福祉学研究会／聖学院大学心理福祉学部

後援：上尾市／埼玉県社会福祉協議会／上尾市社会福祉協議会
さいたま市社会福祉協議会（予定）／一般社団法人埼玉県精神保健福祉士協会
学生ボランティア団体「そよかぜ」／埼玉県立大学川田虎男研究室
ReVA復興ボランティアチーム・上尾

協力：聖学院大学 地域連携・教育センター

問い合わせ：聖学院大学総合研究所 048-725-5524 research@seigakuin-univ.ac.jp

竹内 康紘（たけうち やすひろ）

聖学院大学心理福祉学部心理福祉学科4年／学生ボランティア団体「そよかぜ」代表

埼玉県川越市出身。2023年3月自由の森学園高校を卒業、同年4月に聖学院大学心理福祉学部心理福祉学科に入学し、社会福祉士を目指して勉強に励む。2024年元旦の能登半島地震の発生を受け、かつて父親と訪れたことのあった能登町に学生ボランティアとして訪問、能登町社会福祉協議会のボランティアセンターにて活動しつつ、5月には学生ボランティア団体「そよかぜ」を設立。以来、能登町へ通い続け、子どもたちとの関わりを軸としたサロン活動等を継続している。2025年には、埼玉県内で能登町民による講演会を開催した。

岡安 努（おかやす つとむ）

社会福祉法人共友会統括マネージャー（精神保健福祉士・社会福祉士）

千葉県野田市出身。2003年聖学院大学人文学部人間福祉学科を卒業後、恩師・柏木昭教授の勧めで石川県内の精神科病院や福祉法人で障害者の生活訓練や就労訓練、相談支援、認知症高齢者の生活支援に従事。2013・2014年度に厚生労働省社会・援護局障害福祉部へ出向。2024年元旦の能登半島地震発生時は妻の実家で被災。奥能登での被災高齢者等把握事業等に参加するかたわら、加賀市の職場である認知症グループホームや小規模多機能型居宅介護事業所では、珠洲市や輪島市からの避難者を受け入れ支援している。

岩尾 貴（いわお たかし）

社会福祉法人 長久福祉会業務執行理事・障害福祉サービスグループ施設長（精神保健福祉士）

石川県加賀市出身。1994年淑徳大学社会福祉学部社会福祉学科を卒業後、石川県職員として県庁や精神科病院等に勤務するかたわら、2008年に聖学院大学大学院人間福祉学研究科修士課程を修了。現在は、障害福祉サービス事業所に勤務。2007年の能登半島地震、中越沖地震、2011年には東日本大震災にこころのケアチーム、2016年熊本地震ではDPAT（災害派遣精神医療チーム）に、2023年5月の奥能登地震では珠洲市内の要配慮者等の訪問活動に参加。2024年元旦の能登半島地震では、発災時から精神保健福祉士等の被災地支援の調整に関与し、現在も支援活動を継続している。

聖学院大学の心理福祉学部

～人と社会を深く理解し、「共に生きる」こころを養う～

現代を生きる人々のこころと社会の関係を、心理学と社会福祉学の2つの分野から深く学び、他者に寄り添えるこころの豊かさと課題解決能力を身につけます。スクールカウンセラーやソーシャルワーカーなどの専門職をめざす人に加え、一般企業をはじめとするさまざまな場面で活用できる人間理解とコミュニケーションの力を育成しています。

聖学院大学では、学部、研究科（大学院）ともに科目履修や聴講が可能です。社会人を対象とした履修証明プログラムなども用意しています。

